

①2025年における必要病床数と2016年度病床機能報告による病床数の比較

●桑員区域必要病床数

●病床機能報告 桑員区域計

●公立、公的等病院計

●その他医療機関計
※9病院・10診療所

2025年必要病床数(床)		必要病床数と病床機能報告(2016)との差	2016年度病床機能報告(床)		病床機能報告の区域計に占める4病院の割合	2016年度病床機能報告(床)		桑名東医療センター		桑名西医療センター		桑名南医療センター		いなべ総合病院		
高度急性期	急性期		回復期	慢性期		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等
114	497	▲ 111	647	3	1,144	100.0%	66.4%	3	760	307	154	79	220	0	384	0
554	554	▲ 483	483	71	71	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
383	383	188	188	571	571	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	-	119	119	休棟・無回答等	119			休棟・無回答等	119	42	77	0	0	0	0	0
計	1,548	360	360	計	1,908	46.2%	46.2%	計	882	349	234	79	220	計	220	220

2016年度病床機能報告(床)	
高度急性期	0
急性期	384
回復期	71
慢性期	571
休棟・無回答等	0
計	1,026

※介護療養病床 125
 ※医療療養病床25:1 12
 ※未稼働病床削減計画 271
 ▲ 48 【上記をふまえた病床数】 1,500

脳卒中ハイケアユニット等入院管理料		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等
一般病棟7:1入院基本料	307	154	77			
一般病棟10:1入院基本料						
療養病棟入院基本料1	42					

《急性期》 算定入院料	
もりえい病院	34 10:1
ヨナハ総合病院	53 10:1
青木記念病院	87 10:1
ヨナハ産婦人科小児科病院	38 10:1
日下病院	106 15:1
産婦人科(1)	13
その他(5)	53
《回復期》 算定入院料	
ヨナハ総合病院	52 回りハ2
その他(1)	19
《慢性期》 算定入院料	
山崎病院	48 療養病棟1
長島中央病院	160 療養病棟1
	96 介護療養
もりえい病院	20 緩和ケア
ヨナハ総合病院	42 療養病棟1
大安病院	50 療養病棟1
桑名病院	50 療養病棟1
日下病院	48 療養病棟1
その他(3)	57

【考察】

- ◎高度急性期については、桑名西医療センター（3床）のみの報告であり、必要病床数を111床下回っている。
- ◎急性期については、公立、公的等病院計で構想区域の約66%を占め、必要病床数と公立、公的等病院比較であっても263床過剰となっているが、桑名市総合医療センターの新病院移行により、233床減少する見込みである。
- ◎回復期については、仮に公立、公的等病院以外の医療機関の急性期全て(384床)を転換したとしても(71+384=455床)、なお不足する見込みである。
- ◎慢性期についても、必要病床数を188床上回っているが、介護療養病床と医療療養病床25:1が137床を占めている。
- ◎総病床数については、公立、公的等病院で構想区域の約46%を占めており、構想区域において360床過剰となっているが、建替等による削減を含む未稼働病床の削減計画が271床ある。
- ◎病床機能報告であるものの、病棟単位で報告を求める制度であること、定量的な基準がないこと等から、4病期ごとの実際の患者対応を示す病床数データとしては十分でない。
(※平成30年度の病床機能報告に向けた定量的な基準も含めた基準については、厚生労働省「地域医療構想に関するワーキンググループ」で検討予定)

②在宅医療等の推計

(患者住所地データ) (単位:人/日)

2013年度	訪問診療	832.8
2025年	訪問診療	1,180.8 A
	老健施設	877.6
追加的需要	医療区分1の70%	106.7
	地域差解消B	110.8
	C3未満	170.7
	計	2,446.6

【考察】

◎訪問診療の医療需要は、2025年に371.1人/日(患者住所地)、増加する。

217.4	介護医療院転換分	125.0 C
	介護施設	69.3 D
	訪問診療	23.1 E

$D = (B - C) \times 3 / 4$

$E = (B - C) \times 1 / 4$

2025年 訪問診療計(A+E)	1,203.9
2013-2025年増加分	371.1

桑員構想区域の人口見通し

- ◎平成22(2010)年以降、人口減少基調となっている。
- ◎65歳以上75歳未満人口は、平成27(2015)年をピークに減少。
- ◎75歳以上の人口は、平成42年(2030)年頃をピークに減少。

→外来医療で対応